



グローバル教養学環長
特命教授 野村和宏

STAGEでは、世界の第一線で活躍できるグローバル人材としての素養を身につけるため、4年間の在学期間に2回留学する「ダブル留学」が卒業要件となっています。中長期留学と短期留学を組み合わせて、それぞれ異なる言語圏へ留学することで、多様な文化を実体験し、視野を広げることが目的です。これらの留学は学生が自ら行き先や期間、費用などの条件を検討し、自分に一番適した留学先を決めています。交換留学など留学の種類によっては高い語学力が求められるため、学生たちは入学後すぐに留学プランを検討し始めます。GTECやTOEFL®など

A-I活用力を身につけ、さまざまな社会の課題解決に取り組む力を養います。さらに、海外の協定校、企業・地域社会とも連携し、多種多様な科目を提供しています。これらの一層幅広い学びが目的とするのは、グローバルな経験を生かして地域社会の持続的発展や経済の活性化に貢献できる「グローバル人材」の育成です。

▼ 世界基準で考える力を 「ダブル留学」で手に入れれる

「グローバル教養学環」とは、文部科学省の「学部等連携課程制度」に則した、学部相当の教育組織です。総合大学である本学の強みを生かし、留学を前提とした複数の言語運用力の習得に加え、国際理解や法学、経済学、経営学、政治学などの社会科学の知識、また、データサイエンス・

▼ 課題解決に取り組む力を養う 多種多様な学びの環

本学は、創立者である平生鉢三郎が掲げた人物教育の率先を教育の理念として継承し、学生一人ひとりの天賦の才を大切に育て伸ばすことに力を注いできました。グローバル教育に関しては、約半世紀前のイリノイ大学との相互交流から始まり、現在「融合型グローバル教育」として、すべての学生に向けて充実した留学制度や豊富な国際交流イベントを実施しています。長年にわたり学生のグローバルな活動を後押ししてきたこれらの取り組みを、さらに前進させ特化した新たな教育プログラムが「グローバル教養学環 STAGE」です。

グローバル教育の新たな展開へ——。甲南大学に息づく伝統と革新が、新たな学びのステージを創設しました。社会の第一線で活躍するグローバル人材※を育成すべく、「グローバル教養学環」を新設。「グローバル教養学環プログラム STAGE」は、グローバルキャリアを志す学生のための特別な教育課程です。この春、スタートを切った「STAGE」。その誕生の経緯や学びのプログラムについて、グローバル教養学環長である野村和宏特命教授に語っていただきました。

※地球規模（グローバル）で考え、海外でも国内でも自分のいる場所（ローカル）で活躍できる人材

特集

STAGE

甲南大学グローバル教養学環

2024年4月スタート

●STAGE…グローバル教養学環プログラムの英語名称(Special Track for Accelerated Global Education)の略称

▼ グローバル教育を
加速させる新学環の誕生

多様な価値観が錯綜し、将来を予想することが難しくなった現代社会では、文化や言語の壁を越えて世界の人々と協働し、さまざまな課題解決に取り組める人が求められています。そうした社会的要請に応えるべく、誕生したのが「グローバル教養学環 STAGE」です。

features
特長 2

幅広い学びの領域

▶ グローカル人材になるために必要な知識・経験を得る



社会科学・国際理解

政策の企画・策定にかかる上で必要な経済学や法学などの社会科学や、国際社会を理解するために世界が直面しているさまざまな課題について学ぶ。

データサイエンス・AI

統計・データサイエンス・AI等を活用して、地域課題等の解決ができる素養を身につける。

グローカル実践プロジェクト

留学での経験や社会科学の知識、データサイエンス・AI活用力を生かし、地域や企業が抱える課題解決に取り組む。

features
特長 3 STAGEゼミ

▶ 仲間と切磋琢磨し、グローカル人材へ

1年次から4年次まで、少人数クラスのゼミを必修科目に。1学年定員25名を11名の専任教員が指導。

留学中もオンラインで参加するグローバルなゼミを実施する。

オンラインによる
海外協定校との共同授業地域課題を現場で学ぶ
フィールドワーク

●STAGEゼミテーマ 持続可能な社会／地域創生／異文化間コミュニケーション／グローバルイシューズ／グローバルビジネス

今後、毎年、新しいSTAGE生を迎えて、2027年度にはグローバル教養学環として100名の学生を抱えることになります。同じ学年の学生同士だけではなく、先輩と後輩の関係を強固なものとし、志をもつ仲間たちと一緒に切磋琢磨していくことを願っています。

本学の建学の精神を体現するSTAGEのプログラムを通して、学生たちが自らの天賦の才に気づき、自律的に学びを深めて成長していく姿を見るのを大いに楽しんでいます。

▼ 世界に通用するグローカル人材へ
STAGEは特別な学びの舞台

育っていることを喜ばしく感じます。2年次になると、学生がそれぞれの留学先へと旅立つため、全員一緒に受ける授業は減りますが、1年次から深めた関係性や絆は、卒業後に社会で活躍を始めた後も、彼らの大きな財産となり、人生を支えてくれるはずです。

世界基準で考え、グローカル人材として社会の第一線で活躍できる人物へ

STAGE 学びの3つの特長

▶ グローカル人材とは

国際社会で通用する能力、グローバルな視点および経験を有し、地域社会や経済の活性化ならびに持続的発展に貢献する人材

グローカル人材として必要な力を修得

- ▶ 国際理解・異文化調整力
- ▶ 政策・企画立案力

- ▶ 複数の言語運用力
- ▶ データサイエンス・AIを活用する力

●OECD(経済協力開発機構)が定める“GLOBAL COMPETENCE”が身につきます。

※OECDがグローバル社会の中で生きていかるために最も重要だと判断した「他者と共存しながらコミュニケーションを図り、行動していく力」

features
特長 1 ダブル留学

▶ 豊富な選択肢から組み合わせ、複数の言語圏で学ぶ

異なる言語圏での留学や生活を体験し、異文化に対する理解を深める。「ダブル留学」を通して、異なる文化的背景をもつ人々や社会に対する寛容性と、価値観の違いに起因するさまざまな問題解決のための能力を育てる。

複数言語圏へのダブル留学へ

欧米やアジア圏の名門大学等へ留学

●協定校留学先

18か国 50校

●認定校留学先と合わせて
23か国 149校

※2024年3月現在(予定含む)

●留学先例
アメリカ ニューヨーク州立大学
カナダ ピクトリア大学
イギリス リース大学
韓国 漢陽大学

留学制度を組み合わせ、4年間で卒業



▼ 1年次からゼミがスタート

11名の教員がチーム体制で指導

意欲的な学びをより充実したものにするために、他大学では3年次と4年次で履修することの多い演習(ゼミ)を1年次から始めるのもSTAGEの特色です。1学年25名の定員に対して、専任教員11名がアカデミックアドバイザーとしてチーム体制で指導にあたります。「持続可能な社会」「地域創生」「異文化間コミュニケーション」「グローバルイシューズ」「グローバルビジネス」の分野を順次、リレー講義形式で授業を進めていますが、常に授業担当者以外の複数の教員も、教室に来て学生たちの学びを支援しているのも他の授業には見られない大きな特徴です。教員も熱意をもってサポートしているのです。

1年次は必須科目が多く、全員が一緒に受けける授業が多くあります。また授業時間以外は専用ラウンジで学生同士、あるいは教員との交流を深めているようで、意図していた活気ある学びのコミュニティが育つていています。2年次になると、学生がそれぞれの留学先へと旅立つため、全員一緒に受ける授業は減りますが、1年次から深めた関係性や絆は、卒業後に社会で活躍を始めた後も、彼らの大きな財産となり、人生を支えてくれるはずです。

のスコアを測り、目標とする留学プランに向けて語学力を高めています。もちろん留学だけではなく学内においてもグローバルな学びを展開しています。海外の大学から教員を招いて授業を実施したり、オンラインで海外の大学とオンラインでつながる授業は、ダイナミックで臨場感があり、まるで現地の授業に参加しているようです。

グローバル教養学環
グローバル教養学位プログラム STAGE
1年次 森川 順正さん



英語が公用語のフィジー共和国へ、長期留学していた高校時代。フレンドリーな国民性に影響され、自分自身もオーブンで積極的な性格に変わったと思います。語学力はついたものの、ビジネスの場ではよりオフィシャルな英語表現の習得が必要だと考え、STAGEを志望。語学だけでなく、異文化理解や今後必要とされるデータサイエンス・AIまで学べる新設された学環で、挑戦できることに大きな魅力を感じました。授業では、モノクロ二ツと、ボリクロ二ツ

▼ 少人数で学ぶから 議論や意見交換も活発に

同じ志の仲間がいることが、目標への原動力になる

語学力に磨きをかけ、
ビジネスレベルに高めたい

高校1年生の冬、ロシアによるウクライナ侵攻が始まることをきっかけに、国際問題に興味をもみました。国際紛争が起ころる背景を理解しようと、グローバルに学べるSTAGEを志望。高校時代に経験したオーストラリア留学で、多国籍の学生たちとコミュニケーションの取り方や考え方の違い、さらに自分の語学力不足に直面したことでも動機となりました。STAGEは甲南OBの父が勧めてくれたこともあり、留学経験も積めることから入学を決めました。



グローバル教養学環
グローバル教養学位プログラム STAGE
1年次 厚東 満帆さん



2024
グローバル教養学環
「STAGE」開設



STAGEは1学年25人の少人数で、学生同士のつながりが強く、海外志向が強い仲間が集まり、お互いが刺激し合える環境です。授業では、モノクロ二ツと、ボリクロ二ツ



現在の目標は、交換留学として中長期留学するためにIELTS（海外留学時の英語力証明テスト）のスコアをクリアすること。将来は、海外もしくは外資系企業など、多様な文化背景をもつ人々が集まり、交流できる環境で働きたいです。

国際理解を深め、語学力、異文化交流力を高めたい

入学早々に短期、長期の留学プランを立てました。また、授業でアメリカの大学生と文化の違いについて、オンラインによるディスカッションを経験。非常にハードですが、毎日やりがいがあります。クラスにはさまざまな環境で大学入学までを過ごした学生もいて、普段から授業では質問や意見が活発に飛び交っています。多様な価値観に触れる環境の中、私自身も積極的にになってきたなと感じます。アルバイト先のステーキハウスでも、海外からのお客様には自ら英語で話しかけて接客しています。

もっとと語学力を高め、国際問題をはじめ、物事を幅広い視点から考えられるようになります。日本に限らず世界のどこかで、自分の知識・語学力・行動力で誰かの役に立てる人間になることが目標です。

甲南大学グローバル教育のあゆみ

2024	2020	2010	2000	1990	1970
グローバル教養学環 「STAGE」開設	経済学部 ダブルディグリープログラム設置	マネジメント創造学部 特別留学コース開設	甲南大学EBA総合コース 経営学部ビジネスリーダー養成プログラム GBコース開設	少数を対象とした強化型のグローバル教育	協定校の拡大 マードック大学(オーストラリア)、リーズ大学(イギリス)、ピクトリア大学(カナダ)、ニューヨーク州立大学バッファロー校(アメリカ)等と交流開始
オンライン留学制度を整備	ウェーバー州立大学(アメリカ)とダブルディグリー協定締結 オンライン留学プログラムを開始	認定校(USAFプログラム) 留学先拡大	「ベルリット」「ECC」と提携による ビジネス英語教育が開始	1990年代～ 協定校の拡大 マードック大学(オーストラリア)、リーズ大学(イギリス)、ピクトリア大学(カナダ)、ニューヨーク州立大学バッファロー校(アメリカ)等と交流開始	国際交流の拠点となる 「甲南・イリノイセンター」開設 「甲南・イリノイプログラム(Year-in-Japan Program)」がスタート 第1期留学生21名が来日
甲南学園グローバル戦略策定 タスクフォースを設置	2016 2022 2023 2024	2011 2014 2017 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024	2008 2009 2010 2011 2012 2013 2014 2015 2016 2017 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024	1997 1998 1999 2000 2001 2002 2003 2004 2005 2006 2007 2008 2009 2010 2011 2012 2013 2014 2015 2016 2017 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024	1976 1978 1982 1984 1986 1988 1990 1992 1994 1996 1998 2000 2002 2004 2006 2008 2010 2012 2014 2016 2018 2020 2022 2024
国際言語文化副専攻を設置 協定校留学先・17か国43校 認定校(USAFプログラム) 留学先と合わせて21か国146校に拡大	2016 2017 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024	厦门大学(中国)、慶熙大学(韓国)等と交流開始 東義大学(韓国)との交流開始 国立聯合大学(台湾)と交流開始 外国人留学生(正規留学生)受け入れ開始 留学生の送り出し数395名 受け入れ数168名となり、過去最大数となる	「ベルリット」「ECC」と提携による ビジネス英語教育が開始 東海大学・国立台北大学(台湾)、北京郵電大学(中国)と交流開始 短期留学体験型プログラム「エリアスタディーズ」を立ち上げ 「留学のための英語集中コース」が発足 奨励留学開始 欧米圏協定校を拡大	カールトン大学(カナダ)等と 交流開始 ハワイ大学マノア校(アメリカ)との夏期日本語 短期集中講座開始 ライブツィヒ大学(ドイツ)、トゥール大学(フランス)等と 交流開始	国際交流センター設置 国際言語文化センター設置 (全学の外国語教育を担う機関)